

ご賛同いただきありがとうございました。

大路 健 知念 富太郎 松浦 和美

(敬称省略)

2016年度 地域生活支援関係職員研修会のご案内

NPO 法人 SAJA 主催、研修会を開催いたします。詳細は以下の通

～地域で暮らすを支える～

- 日時 2017年2月18日(土) 開会 10:00 閉会 17:15
- 場所 宇多津町保健センター 綾歌郡宇多津町 1881番地 2階研修室
- 参加費 無料
- 対象者 障害福祉サービス事業所職員、行政関係者、
精神保健福祉関係機関職員、社会福祉関係機関職員、学生、他
- 内容
 - ・講演会 兼浜 克弥 氏/ 那覇市地域生活支援センター なんくる
『地域で暮らすを支える ～なんくるの活動から～』
 - ・シンポジウム
『地域支援の実際 ～それぞれの立場からの検討～』
 - ・シンポジスト
大西 未佳 氏/ 指定相談支援事業所 光と風
山崎 裕太 氏/ 就労継続支援B型事業所 たんぽぽ
小西 マリ子 氏/ 観音寺市社会福祉協議会
 - ・司会進行
西谷 清美 / NPO 法人 SAJA 理事長・四国学院大学

お申し込みは、同封チラシ内の参加申込書にてお申し込ください。



編集後記

明けましておめでとうございます。

たんぽぽでは、1月28日(土)に紅白歌芸大会の開催を予定しています。年始から楽しい行事があり、きっと楽しい一年になるだろうと思います。今年もたんぽぽを宜しくお願い致します。

(山下)

Life

第61号 2017. 1. 17発行
特定非営利活動法人SAJA
就労継続支援B型事業所 たんぽぽ
〒763-0066
丸亀市天満町1-2-31
TEL:0877-22-2840
HP tanpopo-saja.com



『地域で暮らす』を支える視点



理事長 西谷 清美

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2017年のスタートにあたり、今年一年を通じて、NPO 法人サヤが実践、展開したい地域生活支援の考え方について述べてみたいと思います。

わが国に地域生活支援という言葉が登場したのは、1993年頃であったように記憶しています。1987年に精神保健法が成立し、精神障害者の人権擁護と社会復帰対策を柱とした制度改革が行われました。中でも社会復帰対策は、地域ベースの精神保健福祉に不慣れな(あるいは慎重な)わが国の特徴を如実に示す「病院から施設へ、施設から地域へ」というスローガンを謳い文句に、それまで先駆者によって進められていた小規模作業所や共同住宅等の活動の一部を事業化する形でスタートしました。いわゆる社会復帰施設と呼ばれるものです。精神保健法施行当初は、援護寮、福祉ホーム、授産施設という3種類でしたが、その後1996年には入所施設に地域生活事業が附置されたのを契機に、翌年には社会復帰施設として地域生活支援センターが誕生しました。地域生活支援とは、人間の生活活動を「居住」「就労」「地域交流」と考え、病者としてではなく当たり前の生活者として捉えようとする発想から、故人谷中輝雄氏によって発信された言葉です。谷中氏の言う地域生活支援の意味は私達の理解よりも深く、『人が生きる』ということを正面から取り上げた考え方を内包したものでした。具体的には「精神障害者はその障害故に社会生活のしづらさを抱えているため、専門的な支援を必要としている」という医学モデルの支援論から、「生活者としての主体的な地域生活をしづらくさせているものが社会の側にある」とする社会モデルの支援論への転換です。要するに、地域生活支援を社会モデルのアプローチとして捉えていたということです。

さて、たんぽぽでも地域支援の原点に立ち返り、地域で暮らすということに焦点を当てた生活支援を実践して行きたいと考えます。そこでは「医療サービス」や「福祉サービス」は、ごく当たり前の生活者として社会生活を送る上での資源のひとつに過ぎないということを十分に理解する必要があります。「精神障害だから支援が必要」「症状故に仕事は無理」「できそうにないから代わりにやっけてあげよう」等の発想は、半ば道徳モデル(説諭や躾、言い聞かせ)の支援を思い起こさせます。残念なことですが、知識や技術等の力量のない支援者ほどこのような考えに陥ってしまいがちです。そうならないためにも、まずは地域生活の主役である本人の「暮らし」を大切にすることから始めます。支援という名の強制力を使わず、親切という名のおせっかいもしない、本人が大切にしている日々の「暮らし」というものを支援者の目線や感覚で評価しない、そんな地域生活支援を展開したいと考えます。

「プログラム中心の生活支援から、本人の暮らし中心の生活支援へ」を合言葉に、NPO 法人サヤたんぽぽは2017年も前進します。関係者の皆様におかけましては、昨年同様ご理解、ご協力のほど何卒宜しくお願いいたします。



沖縄県国頭村伊江村 民生委員会
NPO 法人 慈恵病院家族会

たんぽぽ見学研修訪問

所長 村井 誓子

10月17日に沖縄の伊江島より民生委員さん、11月11日には岡山の慈恵病院家族会の方々が見学研修としてたんぽぽを訪れました。伊江島の民生委員の方々は理事長の繋がりから、慈恵病院の家族の方々はホームページを見てということで見学にこられました。見学前よりたんぽぽの皆で相談をして役割分担をしました。案内、説明、交流担当を決め、担当の持ち場でそれぞれがいつもの力を発揮する機会となりました。また、伊江島の民生委員さんとは地域は違えども作業所設立の苦労や歩みを振り返ることができ、懐かしさを感じるとともにたんぽぽの新しいメンバーも沿革を知る機会となりました。慈恵病院家族会の方々とは同じ就労継続支援B型事業所を運営しているとのことで沢山の情報交換ができ、お互いに何のために何を大切にしてきたのかを改めて確認でき、今後の課題も見えてきた交流会となりました。私たちにも多くの学びがあり日頃の活動を自分達で語る良い機会となりました。



クラブハウス活動『忘年会』

12/17(土)、忘年会をクラブハウスの企画で行いました。

精神保健福祉士 山崎 裕太

午前中に鍋の材料の買い出しに行き調理を行いました。鍋は肉と魚をそれぞれメインとした2種類を準備しました。調理は参加したメンバー6人全員で行いましたが、驚くほど全員の手際が良く、また意欲的であり、調理が不慣れなメンバーに対しても、経験者が優しく教えてあげている場面もありました。とても美味しく仕上がっていました。

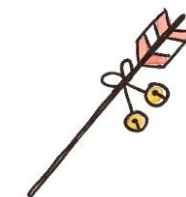
午後からは豪華景品をかけてビンゴゲームを行いました。各々自分のカードに集中しており、想像以上に盛り上がった時間となりました。企画が終了し一段落ついた頃に、今年の振り返りをしようということになり、それぞれが思い思いに話をしました。例年以上にバザーに参加することが多く、大変であったが楽しかったし工賃にも繋がって良かったということや、新しいメンバーがクラブハウスにも参加してくれていることが嬉しいといったことが話題にあがっていました。

事前の準備を行わずに開催した忘年会でしたが、皆が楽しんだ笑いっぱなしの一日となりました。



新年のご挨拶

セルフヘルプコンサルタント 前川 尚人



皆様、あけましておめでとうございます。いつもたんぽぽがお世話になっております。昨年は、バザーの回数が多かった年でした。販売班の皆さん、製造班の皆さん、営業の皆さん、そしてスタッフの皆さん、お疲れ様でした。今年も、昨年に続いてバタバタして忙しい年になりそうです。セルフヘルプコンサルタントの私も今年は忙しくなりそうです。なぜなら、今年から新しいコンサルタントを作ろうと思っているのと、みんなが癒されるたんぽぽにしたいと思っているからです。挨拶も大事ですが、癒しも必要です。みなさん愛情をもって、働きましょう。今年も昨年同様、駄菓子もクッキーも雑貨も洗剤も本もバタバタと売れればと思っています。今年もスタッフ、メンバーが性格を変えずに和気あいあいと働きましょう。

販売担当 泉川 智子

皆さんこんにちは。いつもお世話になってます。たんぽぽに入って早10ヶ月、、、入った当初はたんぽぽ内での軽作業が多かったのですが、今は主に苦手だと思っていた接客・販売やレジ雑貨作りをしています。レジは天候に左右されることが多いし、気泡を入れないようにするのが難しいので大変ですが、それと同じくらいやりがいもあります。去年の9月から怒涛のバザーラッシュ。忙しい中でも自分が作ったレジ雑貨が売れるたびにすごくうれしい気持ちになり、スキルを上げていかなければと思う日々が続いています。これからも皆さん是非お買いいただけると嬉しいです。今年もたんぽぽをどうぞよろしくお願いいたします。

製造担当 K・K

明けましておめでとうございます。私はクッキー作りと、雑貨作りをしているものですが、昨年は忙しくさせていただきました。月を追うごとに、バザー等が増えていき、11月は毎日のように焼いては練りの繰り返しでした。(ホンマ殺人的なスケジュール(笑))初めて3階の冷凍庫に生地を置くということになり、入れ過ぎなんじゃないかというくらいパンパンになっていました。それが見事にはけていったので、あ然としてしまいました。皆さんに買っていただいたお蔭です。おいしいと言われる度にありがたい思いでいっぱいです。(感謝)12月に入るとだんだん落ち着いていき、普段どおりになっていきました。クッキー作りの合間に雑貨を作っているのですが、そちらの方は、今一はかどりません。自分の思うような作品ができないためです。(どこを目指しているんだ、、、欲張りなのでしょうねきっと)今年も何かと忙しい1年でありますように。(あまり殺人的にならないくらいに)よろしくお願いいたします。

バザー・講演会等の出店報告

9月～12月の3か月の間にほんとうに多くのバザー・研修会等に出店させていただきました。

- 丸亀市福祉フェスティバル
- 恵城保育所秋祭り
- 第85回 全国民生委員児童委員大会
- 香川県就学前人権教育研究会
- 城坤ふれあい祭り
- 人権啓発センター ふれあい祭り
- 城西祭り
- 二軒茶屋 文化祭
- 琴平町 文化祭
- 第19回ふれあいプラザ仁尾 文化祭
- 部落解放 第34回 香川県講演会
- 金山文化センター 文化祭
- まるがめ子育てフェスティバル

以上

今回のバザー・講演会等関係者の皆様、ならびにご協力くださった皆様、ありがとうございました。

